

地域密着が生んだ「振り込め詐欺未然防止」 ● 遠野警察署から感謝状



川崎秀規署長は「素晴らしい対応でした。ありがたい」と感謝を述べました

J A 上郷支店の中前隆支店長は振り込め詐欺を未然防止し、1月22日に遠野警察署から感謝状を贈られました。

昨年末、組合員から「農器具の修理代として定期貯金を解約したい」と相談を持ちかけられ、今すぐ現金を用意したいと言う組合員を説得し、翌日の再来店を約束。いつもと表情が違う点や、即日精算を求める傾向がある組合員にも関わらず、修理代を年末に用意するのはおかしいと思い、本人とJ A が共に確認する時間をつくりました。

結果、詐欺であった事が判明。組合員と共に歩み、日々交流しているからこそ分かる表情の変化を読み取った「完璧な対応」と評価されました。

男衆、清く勇ましく ● 胡四王蘇民祭



吹雪の中、たいまつを手に山頂を目指す男衆の勇ましい姿

花巻市の無形民俗文化財に指定されている胡四王蘇民祭が1月2日、同市矢沢の胡四王神社で県内蘇民祭のトップを切って行われました。

同日は、県内外から約70人が参加し、下帯姿の男衆が五穀豊穡や無病息災を祈りながら、たいまつを手に山頂の本殿へ続く参道を力強く登りました。本殿で参拝後、12の干支が刻印された駒の入った蘇民袋が投げ込まれると熱気が湯気となり空高く立ち上がり、前晚からの雪が降り積もった参道をもみ合いながら蘇民袋を奪い合いました。

1時間にもわたった蘇民袋争奪戦は、千葉県から参加の高田和明さん(39)が制しました。

色どり鮮やかつるし雛 ● 北上地域生活文化活動



完成をめざし講師の駿河定子さんの指導を受ける参加者

J A の北上地域は11月21日、文化活動として「第4回つるし雛講習会」を北上支店で開きました。

同講習会は10月から2月まで5回のコースで行われており、毎回一つずつつるし雛を完成させます。今日はJ A 生活活動リーダーの駿河定子さんの指導で「セミ」を作製。参加者は持参した布を使って、ひな祭りにふさわしい、色とりどりの作品を作りあげました。

同講習会は、定員があふれるほどの人気で51人が参加。一つずつ作りあげる達成感が得られ、回を重ねるごとに仲間の輪も広がると好評です。最終回では、今まで作りあげたつるし雛を一つに繋ぎ、完成させる予定です。

女性部活動見本に活性化 ● とおのよつば地域支部フレッシュ部



親子で共同作製。女性部による手作りおやつも振る舞われました

女性部とおのよつば地域支部フレッシュ部は1月11日、J A 担い手支援センターで親子工作教室を開きました。

フレッシュ部活動の頻度を増やし「元氣なフレッシュミズ世代の基盤を作ろう」と開催。同地域女性部青笹支部が地域住民を巻き込み毎年続けている「雑誌ちやぐりんを活用した親子工作教室」を参考にしました。鈴木裕紀子同支部長は「青笹支部の活動を見学し自分たちの活動に足りない部分が見えた。次回はもっと人を集め、活動を展開していく」と意気込みました。

同日は同市内から親子約10人が参加。家の光協会講師の指導で個性が光る作品を作りあげました。

次世代へ伝える小正月 ● グリーンホーム落合三世代交流会



「おばあちゃんの知恵袋」が飛びかう共同作業

J A は1月8日、高齢者健康管理福祉センターグリーンホーム落合で三世代交流会を開きました。

地元市民10組が参加。共有ホールや隣接のデイサービスセンターに設置したミズキの木に、赤や緑の色とりどりの団子を華やかに飾り付け、今年の五穀豊穡を祈りました。

同市から孫2人と訪れた佐藤瑞子さん(76)は「私たちの年代には当たり前な小正月行事も、孫たち世代には新鮮なもの。大切な伝統を残し伝えられるいい機会」と笑顔を見せました。

同施設は、地域住民への施設貸出や温泉の開放、季節ごとの催しなどを開き、地域との関りを深める活動を行っています。同企画は、三世代や利用者が交流を通し、地域に伝わる残すべき小正月行事を次世代へ繋げようと続けています。

武者姿の藁人形に願い込め ● 白木野(しろきの)人形送り



地域を厄病神から守る勇ましい武者姿の藁人形

200年以上の歴史を持つ厄払いまつり「白木野人形送り(町指定無形民俗文化財)」が1月19日、西和賀町白木野地域で行われました。

同日は地域住民ら約30人が藁を持ち寄り、チョンマゲとカミシモ姿に刀をさし、男根が付いた約1mの武者人形を作製。「藁人形が厄病神を背負い外に送り出す」という言い伝えにならい、藁人形を担ぎ、ほら貝や太鼓の音を響かせながら地域内を練り歩きました。

藁人形は外から厄が入るのを防ぐ役として地域境の木に祭られ、一年間同地域を見守り続けます。住民らは地域を見渡す藁人形に手を合わせこの年の無病息災と五穀豊穡を祈りました。

同行事は、江戸時代中期から同地域に伝わり、以来住民らの手によって大切に守り続けられてきた、同町の伝統行事です。